

令和5年度  
学校自己評価報告書

令和6年4月  
東京歯科衛生専門学校

## I 教育目標および教育方針

### 【教育目標】

- 確かな専門能力をもつ歯科衛生士
- 人々に信頼され、心を癒せる健康支援者
- 判断力、創造力、行動力をもつ歯科衛生士

上記の目標を目指し次の事柄を修得させることを本校の教育方針とする。

### 【教育方針】

- ① 医療倫理に基づいた寛容な人間観
- ② ライフステージに合わせた健康管理および地域歯科保健活動能力
- ③ 正確で安全な歯科医療を提供するために必要な知識と技術
- ④ 相手の立場にたったコミュニケーション能力
- ⑤ 生涯学習の必要性の理解

## II 令和5年度 学校自己評価について

### 1、基本的な考え方

本校では、30年度より学校評価事業を開始いたしました。文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいた評価項目について実施しました。また、学生アンケート集計結果も活用し、総合的に分析、評価しました。

自己評価を行うことにより、教職員全員の意識の向上はもとより、自己評価結果を基礎におき、更なる教育の資質向上に努めていきたいと考えます。

### 2、実施方法

- ① 「専修学校における学校評価ガイドライン」の評価項目を参考に、全教職員にアンケートを実施する。
- ② 3年生対象のアンケート（3年間の学校生活を振り返って）を実施する。
- ③ 教職員アンケートの集計結果及び学生アンケート結果を踏まえ、校内評価委員会を開催する。委員会構成は以下の通りです。
  - 委員長 校長
  - 委員 事務長、教務主任、広報部長、事務及び教務から各1名選出。
- ④ 学校関係者委員会の開催。
- ⑤ 評価結果の公開は、学校関係者委員会の報告書、必要に応じて諸資料を学校HPに掲載することにより行う。

### 3、自己評価の項目

以下の10項目について実施します。

- 1) 教育理念・目標
- 2) 学校運営
- 3) 教育活動
- 4) 学修成果
- 5) 学生支援
- 6) 教育環境
- 7) 学生の受け入れ募集
- 8) 財務
- 9) 法令等の遵守
- 10) 社会貢献・地域貢献

#### 4、評価項目に対する評価

以下の基準で点数での評価を行う。

- |            |           |
|------------|-----------|
| 適切・・・4点    | ほぼ適切・・・3点 |
| やや不適切・・・2点 | 不適切・・・1点  |

## 2023年度 評価項目の達成及び取り組み状況

### 1) 教育理念・目標

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像をもとに特色ある職業教育が行われているか	④	3	2	1
・社会経済ニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・将来構想などが学生に周知されているか	④	3	2	1

- ①成果
- ・学校の理念・目的・育成人材像については、各学年の教授要項の1ページに掲載し、常に目の触れるところにと意識して実施している。
  - ・1、3学年の歯科衛生士概論の授業の中で、育成人材像、将来像をイメージできるように現場で活躍する卒業生の歯科衛生士による講話を設定し、将来像を高めるための取り組みを前年同様取り組んだ。卒業生の生の声、アドバイスは学生に好評であった。
  - ・教育理念・目的・育成人材像は定められていると考える。オープンキャンパスを通じても周知されていると感じ、それに共感して入学する者も多数いると思う。

- ②課題
- ・学校の理念・目的に基づく人材育成を実践していく次世代の教職員を継続して育成していくこと。

- ③今後の改善方策
- ・教育理念・目標は学校の基盤となるので、引き続き折に触れ何度も繰り返し伝える努力を継続する。

### 2) 学校運営

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・人事・給与に関する規定等は設備されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、又、有効に機能しているか	④	3	2	1
・組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	④	3	2	1
・教務・事務等の組織整備など意思決定システム(会議等)が制度化されているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切にされているか	④	3	2	1
・業務効率化を図るシステム化がなされているか	④	3	2	1

- ①成果
- ・次年度に向け、教員の増員が可能となった。
  - ・国家試験対策DHACSの活用により、教員の業務削減に繋がった。
  - ・学校運営におけるDX化の検討がなされ、校内にWi-Fiを導入し、教授要項、日程、授業資料等学生が必要な資料をオンライン化する方向性を確立させた。2024年度には、実用可能となる。また、HP上に学生ページを開くことを検討した。このことにより、学生へのサービス向上と教務の業務削減に繋がると考える。

#### ②課題

- ③今後の改善方策
- ・本校での学習に必要なソフトを予めインストールした学生全員共通のデバイスを持たせることにより、オンライン授業の効率化、資料配布方法の合理化(電子配布)学修の効率化を図る。オンライン化における教職員の負担軽減、業務改善にもつながる。
  - ・将来的には、教務事務を配置し、教員の本来の教育面での業務に専念できるようにしていく必要を感じ
  - ・アナログ部分の改善・紙の消費量を減らす電子化を更に進める

### 3)教育活動

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2
・教育理念を踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・カリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
・成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等の連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
・関連分野における最先端知識・技術等を習得するための研修や教員の資質向上のための取り組みが行われているか	④	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

- ①成果
- ・実力試験のあり方、判断基準を検証できた。
- ②課題
- ・審美歯科、訪問歯科、インプラントなど新しい専門分野の知識や経験値の高い人材の採用、実習先の更なる確保。(継続課題)
- ③今後の改善方策
- ・非常勤でもよいので、新しい専門分野に関する講義を行う講師を採用し、卒業生がどんな就職先でも困らないように就職先の選択肢を広げるような幅広い基礎知識を身に付けてもらう。
  - ・法人が開設するサテライトクリニックでの高度な専門分野の実習に対する具体的な介入方法の検討を進める。

### 4)学修成果

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・就職率の向上が図られているか	④	3	2
・資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか	4	③	2	1

- ①成果
- ・3年生全員の国試受験と100%合格の達成(2年連続)
  - ・国試対策補講、KDU講師により解説授業の充実を図ることができた。
  - ・成績不良者のみならず、全体の満足度を挙げ全員で合格する意識を高める対策を講じることができた。
  - ・夏季休暇前の就職ガイダンスの開催を実現でき、学生への意識づけにも繋がった。今年度は、法人医療機関のガイダンス参加も現実化され、法人附属病院、横浜クリニックへの就職へと繋がった。
  - ・卒業生による「卒後のキャリアアップ」講話の実施
  - ・寺子屋教育を進め、学生の不安を受け止めて学習のサポートを実施できた。
- ②課題
- ・卒業後の動向は一部のみに偏っている傾向があり、同窓会との連携が必要である。昨今連携が稀薄になってしまったと思われる。連携について模索が必要である。
- ③今後の改善方策
- ・引き続き国試合格の維持・向上のための対策(TDH版)を作り上げていく事。
  - ・本館でのWi-Fi導入により、次年度の国試対策ソフトDHACSの更なる活用が可能となる。
  - ・同窓会で確認している卒業生の活動について、教職員間で共有する。
  - ・就職の現状についてのアンケートの方法、時期の検討(Googleアンケートの実施)
  - ・退学者低減を意識してサポートしてきているが、今後も親身な教育を継続していく。

## 5) 学生支援

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生への生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
・高校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	④	3	2	1

- ①成果
- ・求人票閲覧のWeb化により、学生、教員双方に利点があった。
  - ・高等教育修学支援制度の対象者が増加し、経済的支援を継続している。
  - ・ハローワークの教育訓練給付金の対象講座として継続して指定され、今後の社会人入学生の支援を継続することができる。
  - ・就職ガイダンスの実施。また、企業による就職活動のアドバイスの実施ができた。
  - ・高校ガイダンスへの参加が増え、高校生への職業教育に繋がった。
  - ・感染予防対策を徹底し学生の安全を図りながら、授業、実習を実施することができた。
  - ・保護者への各学期ごとの成績表の送付、必要に応じての電話連絡等担任との連携を取れるようにしている。また3年生の保護者には、必要に応じ国試の取り組みに必要な情報を提供しサポートのお願いをした。
  - ・1年生の親睦会を、感染対策を講じながら野外活動として実施できた。

- ②課題
- ・既卒生の国試合格に向け、学校としては補完授業の支援体制をとったが、本人の意識づけ・来校を促すことが難しかった。

- ③今後の改善方策
- ・卒業生の動向を把握するために、同窓会(藤紫会)との連携を強めていく方策を模索する。
  - ・専門のキャリアカウンセラーの配置(昨年に引き続き)の検討。
  - ・既卒生の国試不合格者への対応の検討を進める。
  - ・コロナ禍で縮小したスクールカウンセラーの活用の再開を図る。

## 6) 教育環境

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
・学内外での実習施設、インターンシップ、海外研修等についての教育体制を整備しているか	4	③	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

- ①成果
- ・3階トイレの改修工事を夏季休暇中に実施した。これで学生使用の水回りは全て改修が終了した。
  - ・実習室にウオッシャー洗浄機を導入し、教育効果を高めることができた。
  - ・新しい臨地実習先の導入が可能となった。
  - ・火災受信盤の交換を実施した。
  - ・防災ヘルメットの購入を継続し、避難訓練を実施できた。また3日分の水、食料、簡易トイレの備蓄も整っている。

- ②課題
- ・都内で学生が通える場所に法人が実習施設としてのクリニックを開設することが望まれる。

- ③今後の改善方策
- ・法人開設の都内サテライトクリニックにおける本校学生の実習の可能性を探る。
  - ・海外研修については法人短大と連携を取りながら模索していく。



## 7) 学生の受入れ募集

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・4、ほぼ適切・・3 やや不適切・・2、、不適切・・1			
	・学生募集活動は、適切に行われているか	4	3	2
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

- ①成果
- ・6年連続での定員充足ができています。
  - ・次年度の定員が早期に充足したことはとても素晴らしいことであり、広報担当者をはじめ教職員が一団となり取り組んだ成果であると感じる。
  - ・オープンキャンパスの教職員の対応は好評を得、募集活動に貢献した。
  - ・若者(高校生)をターゲットとしたSNS戦略を取り入れ、好評を得ている。(フォロワー数のアップ)
  - ・本校の教育方針を伝えるガイダンスに昨年以上に参加でき、TDH教育を広められ、高校との接触を強化できた。
  - ・高校との繋がりが強化され、目標としている指定校推薦入学者が一定数確保できた。
  - ・AO入試において適性検査を導入し、入学生の特徴を早期から把握できるようになった。
  - ・学納金は比較的安い方の学校であり妥当かと思われる。実習設備を更新したが学費を上げることなく運営することができた。
  - ・HPのリニューアルを行い、見やすいテイストにすることができた。
  - ・入学金の減額に関して、AO入試による減額を廃止し、推薦入試との差別化を図った。

- ②課題
- ・年々国家試験の難易度が上がってきており、国家試験合格には基礎学力の有無も大きくかかわっているように感じる。今後は基礎学力、意識の高い学生の人数を増やして定員充足を目指したい。
  - ・更に歯科衛生士の良さを伝え、意欲のある学生の入学に繋げ、入学生を選抜できるようにする。
  - ・指定校推薦入学者をさらに増やし、入学生の学力レベルアップをする。

- ③今後の改善方策
- ・指定校推薦での入学者を増やすため、高校への広報活動をより活発にしパイプを強化する。そのためにも、丁寧な真面目な指導を行う教育面での成果を教務全体でも意識していく必要がある。

## 8) 財務

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・4、ほぼ適切・・3 やや不適切・・2、、不適切・・1			
	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正におこなわれているか	4	3	2	1

- ①成果
- ・6年連続しての入学定員充足と休退学者減少による学生在籍数の増加、及び法人変更の好影響により、学校の財務基盤は更に安定し、今年度も経常収支は黒字決算の予定。
  - ・財務の安定により、教育に関わる教材、設備等の導入も、教員の要望にできる限り対応することが可能となった。

### ②課題

### ③今後の改善方策

- ・入学者定員充足を今後も継続し、退学防止に努め現在の在籍数を維持していけば財政基盤は更に安定する。

## 9)法令等の遵守

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

### ①成果

- ・学校自己評価及び学校関係者評価報告書を今年度も継続公開している。
- ・専修学校設置基準及び養成所ガイドラインを遵守した運営を継続している。
- ・問題点の改善に取り組んでいる。
- ・広報等で使用する承諾書を全学年取得した。
- ・ハラスメントのFD活動に取り組んだ。

### ②課題

### ③今後の改善方策

## 10)社会貢献・地域貢献

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
・地域に対する公開講座等の受託を積極的に実施しているか	4	③	2	1

### ①成果

- ・他団体への施設貸し出しを行い、社会貢献活動を行うことができた。
- ・高齢者施設での「健康講座」を3年生対象に年2回取り入れ実施できている。
- ・臨地実習を通じて積極的にかかわれていると思う。
- ・地域の方への施設開放をコロナ禍以降行うことができた。

### ②課題

- ・各学会の学生ボランティア活動の周知を拡げる。

### ③今後の改善方策

- ・感染対策を講じながら、積極的に地域にアピールし、イベント、社会貢献活動を継続していく。
- ・各学会の学生ボランティア活動の周知をさらに強めていく。積極的にアピールしていく必要がある。